



「思いやり」がキーワード 新型コロナウイルス感染予防対策について

17日(月)からは、学校が再開となり、子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。今回の臨時休校の措置については、保護者の皆様にたいへんご心配をおかけしました。

臨時朝会で子どもたちにこんなお話をしました。(一部を抜粋、要約しています)

「新型コロナウイルス感染症は、いつどこで感染するか分からない場合も多く、だれもが感染する可能性があります。新型コロナウイルスに感染することは、大変なことだという雰囲気ができてしまうと、具合が悪くなっても、言い出しにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりします。そうすると、さらに感染が広がってしまうかもしれません。

鶴巻小の皆さんには、自分の体の調子を整えることはもちろん、周りの友達に対して思いやりの気持ちを持ち、温かな雰囲気を作ってほしいと思います。もし自分が感染したり、症状があったりしたら友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。」

人への思いやりということであれば、登校前の検温や健康観察、そしてマスクを着用することも相手を思いやることになります。新型コロナウイルスは症状の出ない場合もあるようです。もしかしたら自分は感染しているかもしれないということを考えた行動をとることが、人への思いやりにつながります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対して、より安全・安心に過ごせるように、先生方と感染予防策について再確認をしました。また、休み時間終わりの昇降口付近の混雑などを考えて、試験的に校庭を使用できるクラスを制限したり、消毒ポンプを増設したりする感染予防策の見直しをこれからもしていきたいと思います。メリット、デメリットがあると思いますので、様子を見ながら、これからも考えていきたいと思います。

自分と周りの友達を大切に行動を鶴巻小の皆さんに、もっともっと心がけてほしいと思います。保護者の皆様におかれましても、引き続きの健康観察等のご協力をよろしくお願いいたします。

言葉づかいに気を付けよう ☆つるふわことば☆

新しい学年・学級での生活が始まり、2ヶ月が早くも経ちます。少しずつ慣れてきた頃かと思います。普段私たちが使っている「言葉のつかい方」が、友達や先生方、周りの人たちにどんな思いをもたせているか考えてほしいと思います。嬉しい気持ち、悲しい気持ち…。と同時に、自分はどんな言葉を聞いて過ごしていきたいのかも考えてほしいです。きっと、みなさんも気持ち良く毎日を過ごしていきたいはずですよ。

お互いのために、自分が言われて嬉しい言葉、安心する言葉を相手に伝えていきましょう。素敵な言葉を重ねていくことで、益々、楽しい鶴巻小になっていくと思います。